

2026年5月15日  
商工中金

## 古紙を原料とした板紙を製造する大和板紙株式会社に対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の船場支店は、大和板紙株式会社（本社：大阪府柏原市、代表者：北村 貴則）に対し、サステナブル経営に必要な資金として2億円の融資枠を開設しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※1）を適用しています。

同社は、古紙を原料とした再生板紙を製造しています。色や風合い、質感にこだわった製品を、商品パッケージや書籍、文具、販促資材など幅広い分野に提供しており、こうした事業や経営姿勢が評価され、第57回（2023年度）「グッドカンパニー大賞（※2）」特別賞を受賞しました。

※2 公益社団法人中小企業研究センターが主催し、経営力や社会性、将来性に優れた中堅・中小企業を全国から選び表彰する、1967年創設の歴史ある企業表彰です。

今回同社は、難処理古紙の再生による廃棄物削減や働きやすい職場環境への取組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【大和板紙株式会社の概要】

所在地	大阪府柏原市河原町5-32
代表者	北村 貴則
資本金	5,000万円
従業員数	107名（2025年12月時点）
設立	1952年3月
業種	板紙製造業



【同社製品】

(※1)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

